

from ほうかつ

令和5年12月発行

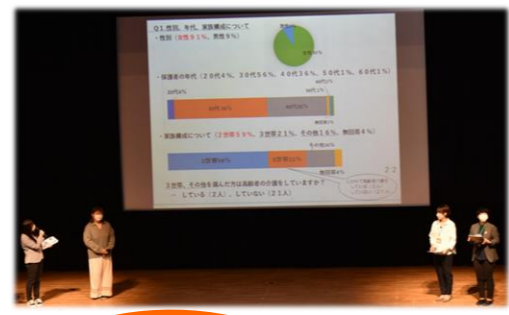
特集！ 檜葉の地域づくりとともに歩む9年目 ～「ならコレ2023」を開催します！～

檜葉町では、2015年度より檜葉町地域包括ケアシステム構築推進シンポジウム「ならはコミュニティコレクション（通称：ならコレ）」を開催し、今年度で9年目を迎えます。今回は「ならコレ」のこれまでの歩み、そして今年度のシンポジウムの内容について詳しくご紹介します！

◆ならコレとは？

ならコレは、檜葉町が地域福祉推進において掲げる基本理念“みんなで支え合い 幸せを実感できるまち”のもと、檜葉町地域包括ケアシステム構築の実現について皆さんと一緒に考えるシンポジウムです。

地域包括ケアシステムとは、「医療・介護サービス」「地域参加を通じた介護予防や生きがいづくり」「見守り・生活支援体制」といった支援が町全体で包括的に提供されることを指します。ならコレは、子どもから高齢者まで、認知症や障がいの有無に関わらず誰もが地域で生き生きと暮らしていくために、今の檜葉町で実現できていることは何か（地域づくりの現在地）を皆さんと共有するとともに、今後どのような社会資源や地域の支え合いが必要か（これからの“檜葉ならでは”の地域づくり）について考えるシンポジウムとなっています。



◆これまでの歩み

～町民の私たちが考える地域づくり～



ならコレは、2015年に全町避難指示解除となり、新生ならはの医療・福祉体制を考えるシンポジウムとしてスタートしました。第2回からは毎回様々なテーマを設け、帰町後の暮らしや地域活動、地域住民や介護福祉サービス事業所の意見交換から見えてきた地域課題や今後の展望、認知症高齢者への理解等について紹介しました。

昨年度は、「子どもたちが暮らすより良い地域づくり」をテーマに、子育て世代座談会の報告や寸劇を通して、子育て世代や子どもが暮らしやすい地域づくりについて会場の皆さんと一緒に考えるシンポジウムとなりました。



昨年度のならコレの様子
(寸劇を通して地域での子育てを考えました)

第9回

ならコレ 2023

今回のテーマは、祭り！
「祭りの中の暮らし 暮らしの中の祭り」

日時：2024年1月20日(土) 9時開場
会場：檜葉町コミュニティセンター

◆テーマ「祭りの中の暮らし 暮らしの中の祭り」について

少しずつ再開の動きがあった町内の夏祭り……。今年はさらに加速し、「震災後初」「コロナ禍明け初」となる地区が一気に増えました。祭りは、震災以前より地域の中に連綿と受け継がれてきた文化であり、今年の夏祭りは町外から帰省する人と地元で暮らす人を13年ぶりにつないだ大きな行事でもありました。

今回のならコレは「祭りの中の暮らし 暮らしの中の祭り」と題し、各地区の皆さんがどのような思いで祭りの再開を決意し準備を進めてきたのか、その苦労ややりがい、年長者が若い世代に笛や太鼓の囃子を伝承し練習を重ねたエピソード等、地域取材を通して見えてきた各地区の様子をお届けします。また、各地区の祭り当日の様子をご紹介しますとともに、祭りが子どもから高齢者まで多世代をつなぎ、地域にどのように根付いてきたのか、寸劇を交えながら“祭りと暮らし”の関係性について考えます。

◆プログラムについて

地域で元気に活躍する皆さんの活動発表や、寸劇「祭りを通じた地域づくり」のほか、下記のプログラムで地域の様々な活動や取組をご紹介します（※詳細は広報ならは12月号封入のチラシや檜葉町ホームページをご覧ください）。

<プログラム>

第1部 活動ステージ発表(民舞、めでた節、よさこい、祭り囃子)

第2部

- 寸劇「祭りを通じた地域づくり」
- 元気畑マップ紹介
- 地域活動マップ紹介
- 子育て世代座談会報告
- 農福連携活動の現状報告
- サマーショートボランティアスクール報告 等

あったか汁のふるまいもあります

野菜&作品抽選会もあります

今年度もタッグを組んで開催します！
檜葉町保健福祉課×地域包括支援センター

檜葉町保健福祉課 介護保険係 岡部係長

今年のテーマは祭りです！地域の方々が力を合わせて再開させた祭りを通して、お互いに支え合い・つながりを持てる地域づくりについて、一緒に考える機会にしてみませんか。皆様のご来場をお待ちしております！！

檜葉町地域包括支援センター 江尻

今年の夏は、町内のあちこちで祭り囃子が鳴り響きました。“祭り”と“地域づくり”はどのように関係しているのでしょうか。“祭り”の中に見える、人々のつながり、伝承、支え合い……。より良い地域づくりのヒントを、皆さん、一緒に発見してみませんか♪

高齢者・障がい者の総合相談窓口

TEL:0240-25-4155 FAX:0240-25-4156

〒979-0604 檜葉町大字北田字鐘突堂5-5 (檜葉町保健福祉会館3F)

Email: naraha-houkatsu@car.ocn.ne.jp

発行元：社会福祉法人檜葉町社会福祉協議会 檜葉町大字北田字鐘突堂5-5 (発行元責任者：福井光治)

お気軽にご相談ください。



生活支援
コーディネーター
小林 紀子

先日、檜葉町社会福祉協議会および地域包括支援センターでは、将来の社会福祉士を目指し学業に励んでいる大学生の実習受け入れを行いました。

実習生は、8日間の実習期間を通してそれぞれの職員に同行し、戸別訪問や相談援助、地域ミニデイへの参加のほか、デイサービスセンターやまゆり荘、介護予防事業、地域交流サロン、配食ボランティア、農福連携の活動等に参加し、檜葉町の福祉の現場を体験しました。

今回は、8日間の実習を通して学んだことや印象に残ったエピソードについて実習生がまとめた活動レポートをご紹介します!

実習生 活動レポート ①



介護予防事業～利用者の皆さんから元気をもらいました!

保健福祉会館で行われている介護予防事業に参加し、利用者の方と一緒に体操をしました。利用者の方々は、非常に楽しそうに生き生きと体操されていて、その輝きから私は元気をもらいました!

また、マッチ棒の脳トレをやった際に、私より頭が柔らかい人が多かったです。私も、もっと柔軟な考えができるようにトレーニングが必要であると気付く良い機会になりました。

実習生 活動レポート ②



地域の支え合いを考えるワーキンググループに参加して

地域の支え合い活動を推進するための課題解決に向けて具体的な協議を行う場であるワーキンググループに同席させていただきました。地域に足りないものと考え、新しくサービスや事業を立ち上げ、継続させていくにはどうすれば良いかなどについて会議は進められています。

実際の様子を体験し、予算の確保や担当者をどうするか、内容はどのようなものにするのか等を事細かに話し合っていて、非常に難しい内容だと感じました。足りないもの、欲しいものを提案するのは簡単ですが、それを実現させるには時間と労力がかかることを身をもって学びました。

～実習を終えての感想～

今回の実習を通して、檜葉町の現状や社会資源などについて改めて知る良い機会になりました。また、檜葉町での個別支援や地域づくりを通じて、その事業の目的、利用者の方や職員の方への効果、地域課題、社会資源の案などを考え、理解することができました。今後、自分が支援者になった際には、利用者の方に寄り添い、元気に日常生活が送れるよう、その人に合うサービスを考え、資源が足りない場合は開発していきたいと思っています。

今はまだまだ未熟ですが、少しでも理想像に近づけるよう、勉強を頑張りつつ、ボランティア活動などで経験を積んでいきたいと思っています。



今回の実習受け入れで、私からも生活支援コーディネーターの役割や地域づくりを説明するにあたり、日頃自分が実践できていること・できていないことを客観的に見つめる機会になりました。また、社会福祉協議会や地域包括支援センターが地域福祉の担い手として町民の皆さんの身近な存在であるとともに、福祉事業の推進には、地域の実情を知り、町民の皆さんの声に耳を傾けることが大切であること、事業の具現化には多機関との協働や実行力が不可欠であることを再認識し、学びの多い実習受け入れとなりました。

fromほうかつ ころむ

生活支援コーディネーター
小林 紀子



ならコレ2023に向けて

今回の特集でご紹介している「ならコレ」は、檜葉町が全町避難指示解除となった2015年度に、新生ならはの医療・福祉体制を考えるシンポジウムとしてスタートしました。当時の私は、「これからの檜葉町はどのように復興していくのだろうか」という期待とともにシンポジウムを聴講しました。もう少しさかのぼると、2015年3月の「檜葉ならでは祭」におじゃましたのが檜葉町との最初の出会いでした。会場のあちこちで再会を喜ぶ声が聞こえていたことを今でも覚えています。

生活支援コーディネーターとなり、ならコレを「聴講する側」から「企画運営に関わる側」に変化した現在、「檜葉の地域づくりの今」をどのように町民の皆さんにお伝えできるか、町保健福祉課をはじめとする関係機関の皆さんと一緒に試行錯誤しながら準備を進めています。今年度の「ならコレ2023」は、町民の皆さんによる活動発表や作品展もありさらにパワーアップしています。是非会場にお越しください!



～ みんなのつぶやき ～



センター長 磐城

野菜不足が
気になる方へ



加糖紅茶に青汁を!
飲みやすいので
是非お試しください♪



主任介護支援専門員
兼認知症地域支援推進員 江尻

師走・・・。
普段なかなか会えない方へ
年賀状の準備。我が家の近況と
新年の抱負を
伝えたいと思います。



社会福祉士 渡邊



社会福祉士の養成実習の対応を
しました。学生のご対応、ご協力
いただきました町民の方、支援者
の方々、ありがとうございました。
私も新たな気づきがありました!



素朴な疑問コーナー



Q. ならコレのプログラムにある
「元気畑マップ」とは?

A. 元気畑マップは、町内で元気に野菜づくりをしている皆さんをご紹介しますものです。健康の秘訣や野菜づくりのコツなどを現在取材中です!

